

パシオン通信 秋号

秋号

需要が薄い物ほど手元に集まる システム開発部 K・I

ゲームの用語に物欲センサーというものがあります。特定の物が欲しい時に出なくなるというもので、欲しくなくなった時に物欲センサーから外れ入手しやすくなるといったもの。まあこれは主にゲーム内の乱数や確率操作の話になるので現実にはあまり関わらないのですが、それでも現実でも物欲センサーがあると考えさせられることがたまにあります。ありました。

ゲオでやっているPS5の抽選に当たってしまいました。記事を書いている時点ではゲオの抽選はPS4を安値で売らないと買えないという仕様になっていますが、この抽選はそれが発表される2日前の抽選だったので売らなくて済みました。



ですがPS5の興味としてはどちらかと言えばほしいけど正直どっちでもいいなと思うようになったころでもあります。それもそのはず販売直後から転売が横行したせいで入手が困難になり、PS5専用ソフトがほぼ出なくなったため、PS4を持っている身としてはPS4でできるからいいやと考えるようになったのです。実際、PS5を買ったのでPS4は現状お払い箱状態。ゲオでの安値での買取はしませんが、まあ流石にスペックがいいものを使うようになれば必要ないです。そんなわけでPS4を犠牲にPS5は今日も細々と活動をつづけております。

ところでなぜPS5の活動が細々としているのか、そりゃあ世間ではイカが流行っているからですよ。更にはSteamのゲームも新しく出たり、minecraftをやっていたりするとPS5にさく時間が無くなるのです。丁度今はPS系のゲームも欲しい物があまりないタイミング。他のゲームがすすむ訳です。

そしてそんな中ではまっているのがドリームキャスト。



1998年にでたゲーム機です。なんでいまさらと思うでしょうが、かくいう私もわかりません。確かに思い出補正が入っています。この時代のゲームは徐々にやると楽しいのですが今のゲームと比べると圧倒的にテンポが悪い。まあやってるゲームにもよ

るし技術力もありますけど。その点を考えるとPS5は待ち時間が短縮されているのはいいですね。ドリームキャストは年代物過ぎてディスク読み込みが最悪の場合止まってBGMが途中読み込まれないとかありましたし。それでもドリームキャストのゲームをやめないのは、過去にやったゲームがどこか楽しいことをわかっているからでしょうね。

今家の環境ではPS2とかスーパーファミコンとか繋がってないのでやれませんがやれる環境があるなら恐らく優先してやると思います。そんな私が言えることは、たまには古いゲームもやるといい、ということです。



総務部Sです。9/29に東京ドイツ村と酒々井プレミアム・アウトレット



「ケイトウ」



「コキア」



「酒々井アウトレット」

に行ってきました。コキアが真っ赤になったのが見たかったです。早かったようです。(残念)ケイトウは見ごろでした。今月末はハロウィンです。



目次

需要が薄い物ほど手元に集まる	1
5月の島巡り	2~3
最近買ってよかったもの	3~4
研修を終えて	4



5月の島巡り システム開発部 T・Y

時間は2022年5月、コロナ禍第6波が収束している今こそ、家族でどこかへ出かけようと思った。前回の函館は5年前のことだった。今回は南国に行きたいが、沖縄は子供の卒業旅行にしようと悩む。「鹿児島はどう？」と夫のさりげない一言で、子供が「世界自然遺産に登録されているから、自然いっぱいのところに行きたい」とすぐに決めた。

今回の行程



子供の学校が始まる前に戻ることを考えると、制限期間は4日間。できるだけ山と海を楽しみたいのを夫に伝えて、鹿児島、屋久島、種子島の旅が始まった。そういえば、中国に帰国する時に国際線はよく利用するが、日本の国内線は今回初めてだった。飛行機から降りたとたん南国の風が美味しい。

夫は学生時代に鹿児島で過ごしていたが、インドア派の性格で、4年間居たとしてもほとんどどこにも行かなかったらしい。

「まずは、天文館に行こうか」と夫に案内され、映画ラ・ラ・ランドのグリフィス天文台を想像してしまう。実際に現地に着くと、天文望遠鏡や、プラネタリウムがなく、繁華街のことだった。結構な都会になっており、天文台は残念ながら江戸時代に戻らないと見られないようだ。

今時の天文館



子供は桜島の噴火を見たくて、「噴火はいつか、火山灰を取りに行こう」とワクワクしていた。シラス台地を生かし、桜島大根が有名だと知っているが、途中の県立博物館で20キロ以上の大根を見た

ホテルは城山ホテル鹿児島、天文館通りを歩いて山を登れば20分ぐらいで、タクシーもいいけれど、せっかくだから、登ろうと決めた。ホテルは城山のとっぺんにあり、そこで桜島が見られる。

とき、その大きさに驚いた。また、時代別の地層模型は縦に積み重ねた2階もある壁、アンモンナイトの化石、溶岩など、中生代の地球の様子も想像できる時間のトラベルをしてきたようだった。チェックインが済んで、夜までまだ時間があったので、タクシーで下山して、夫の思い出の大学キャンパスを見学して路面電車も体験した。中央駅を通った時に一瞬に東京の中心地ではないかと思えた。

城山公園からの一望



路面電車



キャンパスの一角



二日目、一番乗りの高速船で10時頃に屋久島に到着した。港周辺に散策して、名物の飛魚ラーメンを堪能した。



屋久島はバスが結構走っているので、1日乗車券を購入すると移動には困らない。白谷雲水峡は縄文杉が見られるハイキングコースがあり、片道3時間だと、帰れなくなるので断念し、子供連れの場合は楽々1時間の弥生杉コースに行ってきた。

[3ページに続く](#)



3ページより続き 私は寝るとき、いろんなものに邪魔される環境（風の音、虫の音、人の声、物音 etc）なのですが、耳栓をすると朝アラームが聞こえず起きられなくなる為、今までどうにかそのまま眠るしかなかったんです。

しかし、この新しいイヤホンのおかげで睡眠の質が向上した気がします。もっと早く購入すれば良かったと思った今日この頃です。

タブレット端末の方は特段良いってことはないのですが、読書用に購入しました。最近文庫本サイズじゃない本も多くなってきて、持ち歩くのも読むのも大変で…。

出来れば紙で読みたいのですが、私の場合何冊も持ち歩く羽目になる為、電子書籍に変えました。（あと本の置き場がもうないって理由もあり…。）

1万台のタブレット端末ですが、本読む程度なら特段

問題ないですが、動画見たりゲームするには支障がありました。1,2万の安いタブレット端末だとメモリが足りなくてプチフリするんですよ。

大抵OSがメモリの1~2GBほどを使用しているのですが、カタログスペックに記載されているメモリが3,4GBだと半分しか使えないことが多いのでカタログスペックを鵜呑みにして安いタブレット端末を購入する際は注意が必要です。

スマホ端末はエントリーモデルでさえ高性能化してる傾向なので注意しなくても4~8GBくらい搭載している気がします。半導体不足も相まって1台当たりの金額が上がってるので、気軽に購入することができないのが悲しいです。

本稿にて皆様にも少しでも何かしらの役に立つ内容となれば幸いです。

最後まで、お読みいただきありがとうございます。



研修を終えて システム開発部 H・H

4月から6月末までの3か月間、マナーや礼儀作法について、グループでの活動、プログラミング実習など沢山のことを学びました。中でも私はプログラミング実習が記憶に色濃く残っています。

プログラミング実習の期間が長かったのもあります。初めは基礎からでしたが回数を重ねるごとに難しくなっていく、置いて行かれないようにするために週末に勉強をしたりして乗り切っていたのが記憶に新しくあります。しかし、そのおかげで最後まで研修を受けきることが出来ました。週末の勉強がかなり手助けになったので、これからも欠かさずにやっっていこうという気持ちを持つことが出来ました。

そして、7月からは実際の現場で働くことになりました。研修でのプログラミング言語はJava言語だったのですが、配属先ではCOBOL言語を使うと知り、聞いたことはあっても見たこともない言語だったので不安はかなりありました。

しかし、いざ言語に触ってみると二年目の先輩方が隣で分からないことをみっちり分かるまで教えてくれます。Java言語と違ってCOBOL言語は上から下に流れていだけなので、シンプルで分かりやすく個人的には好きな言語でした。私がJava言語を苦手だったのもあります(笑)。

7月から8月末まではみっちりCOBOL言語について学びました。9月からは実作業に入り、少し忙しくなりました。以前まではパシオンの先輩と席が離れており、そこまで会話が出来ていなかったのですが、席替えをした際に隣の席にさせていただいたため、分からないところを聞いたり、時には雑談などをしたりと充実しています。分からないところは例を用いてわかりやすく解説してくれ、答えを言うのではなく自分で考えさせて答えを導いていってくれてすごい先輩だと思いました。

私も先輩のように技術を磨き、理解を深め現場の方々の力になれるように頑張っていきたいと思いました。



本紙はパシオン社員の親睦を目的にした社内報です。パシオンをご理解下さる関係者に限定配布しております。本趣旨にもとるご利用、お取り扱いにはご容赦いただきますようお願い致します。

〒221-0052

横浜市神奈川区栄町1-1
KDX横浜ビル7階

電話 045 (450)1921
FAX 045 (450)1922

ホームページもご覧ください
<http://www.pasion.co.jp>

発行責任者： S・M